



大学入学共通テストから国公立大学前期までを振り返って

3月の進路関係行事

- 1(火) 第57回卒業証書授与式
- 2(水) 後期募集学力検査準備(家庭学習日)
- 3(木) 後期募集学力検査(家庭学習日)
- 4(金) 後期募集採点(家庭学習日)
- 5(土) 春季特別講座②
- 7(月) 後期募集採点(家庭学習日)
- 8(火) 公立大学中期試験
- 11(金) 後期募集合格発表(家庭学習日)
- 12(土) 春季特別講座①[~13(日)]
国公立大学後期試験
- ~~15(火)~~ ~~スキー教室~~ ※中止
- 18(金) 新入生オリエンテーション(家庭学習日)
- 22(火) 球技大会(午前) 生徒総会(午後)
- 23(水) 薬物乱用防止教室①
- 24(木) 進路講演会① 合格体験談①②
スタディーサポート②
- 25(金) 終業式・離任式
- 28(月) 学年末・学年始休業[~4/6(水)]

※○数字は学年を示します

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、今後変更になることもありますので、ご了承ください

新型コロナウイルス感染拡大の第6波が本格化する中、大学入試共通テストが1月15日、16日に行われました。感染拡大が懸念される中での受験となりましたが、本校受験生255名は全員予定通り受験することができました。2年目となった共通テストは事前から難化することが予想されていましたが、数学ⅠA、日本史B、化学、生物などの科目でセンター試験、共通テストを通じて全国の平均点が過去最低となるなど、多くの科目で前回よりも平均点が下がりました。紙面左下に本校受験者数が少なかった物理基礎を除いた各科目の本校および全国の平均点を掲載しましたが、難化した中で本校3年生はほとんどの科目で全国平均点を超え、データネットによる900点満点集計でも文系、理系ともに上回るなど奮闘が目立ちました。こうした結果を受けて三者懇談や志望校検討会を経て、2月4日までにすべての国公立大学の出願を終えました。その後、学校推薦型・総合型選抜による入試結果が2月15日までにすべて発表され、国公立大学では東京大を始め、東北大、東京学芸大、静岡県立大(薬)などに31名が、私立大学では学習院大、慶應義塾大、明治大などに28名が合格しました。県内国公立大学では山梨大に14名(教育2、工2、生命2、医・医7、看護1)、山梨県立大に3名(国際1、人間1、看護1)、都留文科大に2名(文1、教養1)が合格しています。

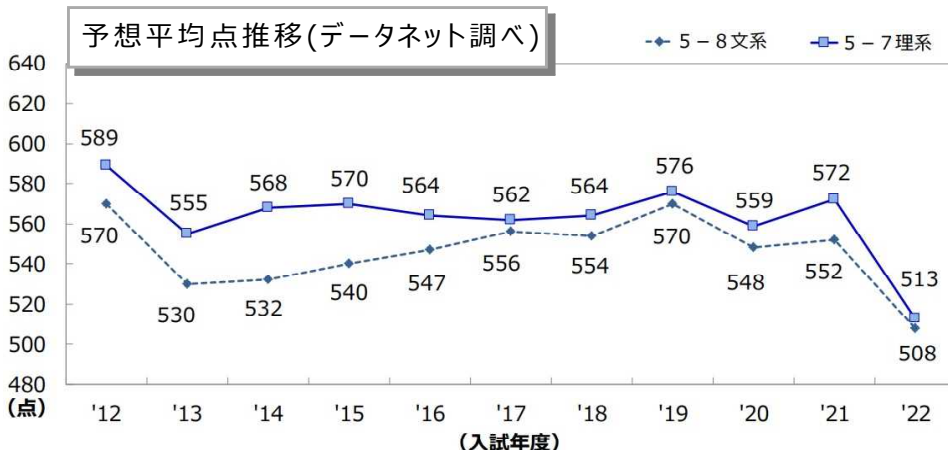
現在、多くの私立大学で入試結果が発表されている一方、国公立大学は前期日程の結果がこれから発表、中・後期日程はこれから試験となり、3年生のみなさんはまだまだ落ち着かない日々を過ごしている人が多いと思います。しかし国公立大学を目指す受験生はそれが普通です。共通テストの平均点ダウンに加え、長引く新型コロナ第6波の影響で、全国的に弱気になっているときこそ、**最後の最後まで諦めずに受験することが合格を呼び込む秘訣**となります。国公立大学の中・後期そして私立大学の3月入試などが続きますが、ぜひ最後まで強い気持ちを持って粘り強く受験に向かい、自身が望む未来をつかみとってほしいと思います。



大学入学共通テスト平均点(本校・全国)

科目	本校		全国	
	平均点	平均点	平均点	前回比
国語	119.8	110.3		-7.3
世界史B	64.8	65.8		2.3
日本史B	55.3	52.8		-11.5
地理B	63.0	59.0		-1.1
現代社会	62.2	60.8		2.4
倫理	62.8	63.3		-8.7
政治経済	63.2	56.8		-0.3
倫理政経	71.1	69.7		0.5
数学ⅠA	41.2	38.0		-19.7
数学ⅡB	43.8	43.1		-16.9
化学基礎	28.9	27.7		3.1
生物基礎	25.7	23.9		-5.3
物理	63.7	60.7		-1.6
化学	50.2	47.6		-10.0
生物	54.2	48.8		-23.8
リーディング	64.7	61.8		3.0
リスニング	63.5	59.5		3.3
文系5-8 900点	509.3	508		-44
理系5-7 900点	528.6	513		-59

全国は大学入試センター発表。前回比は得点調整後との比較。900点集計はデータネット(ベネッセ・駿台)調べ。



1. 2年生へ 第一志望合格は3月の過ごし方で決まる?!

3月から4月上旬は学年末・学年始休業に加え、高校入試の関係で家庭学習日も多くなるなど、1年間の中で比較的、時間にゆとりのある期間となります。今まで時間がなくてなかなかじっくり取り組めなかったことにチャレンジする良い機会です。それは学習面でも同じ。返却される定期試験や模擬試験の結果をよく分析し、苦手分野の克服やさらに深めたい分野の学習に充ててほしいと思います。その際、ぜひ問題の解き方などの小手先の学習に走るのではなく、教科書などを用いて学習内容の本質的な理解を深めることを意識して下さい。急がば回れ。本質的な理解を大切にすることが実は確かな実力、そして第一志望合格に繋がる早道なのです。

2年生 3月は受験のプレ天王山!

よく「3年生の夏休みは受験の天王山」と言われます。天王山とはその麓で羽柴（豊臣）秀吉と明智光秀が覇権をかけた山崎の戦いが行われた場所で、この合戦に勝利した秀吉が天下人に登りつめたことから、戦いの舞台となった「天王山」が、ここ一番の「勝負の代名詞」となっています。実力は日々の努力の積み重ねであり、短期的に伸びるものではありませんが、確かに受験において夏休みの学習が重要なポイントとなるのも事実です。夏の学習を爽りあるものにするためには1ヵ月でどのくらいの学習ができるのか、自分で学習するには何が難しいのかなど計画の立て方や実行力の確認などが事前にできているとより具体的な計画、実行へと繋がっていきます。それができるのがこの3月です。ここで1ヵ月の計画を立て、自発的かつ長時間の集中した学習を体験することで、これからの学習をより具体的にイメージすることができます。もしこの3月の学習が思うように行かなかったとしても、その反省は次の夏休みの学習計画に活かされるはず。夏が受験の天王山ならこの3月はプレ天王山です。この3月を制するものは夏を制し、受験をも制す。普段学習している英語、数学、国語の学習に加え、特に3月に意識してほしい学習のポイントを紹介したいと思います。

文系：数学の復習と地歴公民の深化

文系は難関国公立大学になるほど数学を課す大学も多くなります。得意科目にすることで選べる大学の幅が大きく広がるとともに、数学が苦手な文系受験生が多い中で、ライバルに大きく差を付けることができるため合格率を高めることにも繋がります。地歴公民は今まで習った内容を横の繋がりやテーマごとにまとめたり、興味を持った分野を自ら調べて深めるのも良いと思います。

理系：理科の復習と地歴公民の学習スタート

理系は個別試験でも大きなウエイトを占める理科の実力が合否を大きく左右します。理解があらゆる分野を徹底的に復習して本質的な理解を深めましょう。また今までなかなか学習時間を取ってこなかったであろう地歴公民科目についても今後は日々の学習に取り入れていくことになります。受験のための学習が本格化していくのに先がけ、今のうちに既習範囲の総復習をしておくことと夏の学習で英語や数学、理科にかける時間をより増やすことができます。

1年生 自分発見を自己成長へ繋げる

1年生は英語・数学・国語の基礎を固めることが重要です。まずはこの1年間で学んだことの確認と定期試験や模擬試験で洗い出された弱点分野の補強を図りましょう。2年生の学習は1年次よりもより高度なものになることに加え、理科や地歴公民科も本格的な内容になっていきます。今のうちにぜひ英数国の確かな基礎固めを進め、新学期から好スタートを切れるようにしていきましょう。また1年生の大きなテーマは「自己発見」でした。この1年間の学習や活動を通じて、興味関心、長所と短所、得意と苦手など自分自身についての新たな発見もたくさんあったのではないのでしょうか。そして深まった自分自身の情報をこの3月に一度整理して、次なる自分の目標を明確化することで、2年次のテーマである確かな「自己成長」に繋がります。目標がはっきりすると学習だけでなく学校生活全般のモチベーションも高まっていきます。「本気のやる気」こそ成功の秘訣です。

春季特別講座について

今年も3月の週末を利用して春季特別講座が行われます。2年生は3月5日(土)に代々木ゼミナールの西川彰一先生(英語)と藤田健司先生(数学)が、1年生は3月12日(土)・13日(日)に駿台予備学校の鳥光宏先生(古文)がそれぞれ講義を行います。長年予備校の第一線で活躍されている先生方の講座からは、学習内容そのものだけでなく、各教科の本質や受験についての情報などについてもきっと学ぶことができると思います。ぜひ講座を通じて大いに刺激を受け、今後の学習に役立ててほしいと思います。講座受講者には事前にテキストを配付しますので、しっかりと予習し、積極的な受講をお願いします。なお新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはやむを得ず中止またはオンラインによる実施等に変更になることもあります。変更になる場合はSHRやClassroom等を通じて連絡しますので、注意して下さい。



1, 2年生の春季特別講座はオンラインでの実施に変更となりました

山梨県立甲府南高等学校
進路指導部

URL <https://www.kofuminami-h.ed.jp>
E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp